

じめて真のゆとりを生み出す。このように、わかる、わかる、できる、という学習過程を軸にして授業を組み立てることによって、生徒の授業における自己実現を図る」というのである。授業の展開が、生徒指導の展開に重なってくるのではない。

学習指導と生徒指導が不即不離の関係で展開している例であろう。ただ、この例は学習指導法からのアプローチであるので、まだ、生徒指導のかかわる部分の掘り下げが十分ではない。しかし、生徒の心情面を重視したすぐれた研究であると思う。

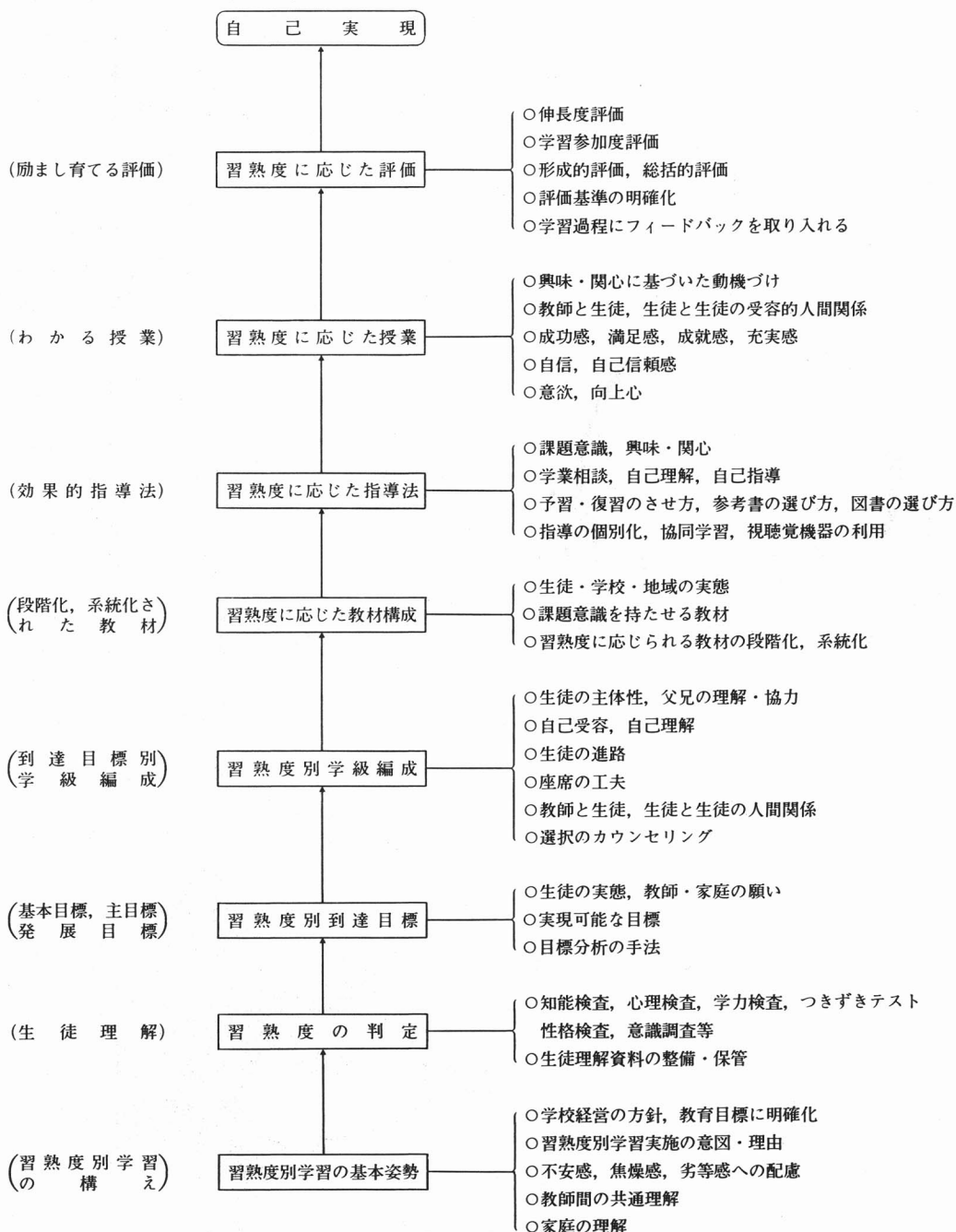


図4：習熟度別学習における生徒指導